

COS 下北沢の歩み年表(2001～2024)

※2017年3月発行『せたがや自治政策研究所『都市社会研究9』掲載より転載

その後、2024年までは逐次加筆

2001年

12月土地活用について SAHS に相談が来る

2002年

2月第1回会合 参加希望活動団体による現地見学会

7月第6回会合 「COS 下北沢をつくる会」 立上げ

12月土地所有者と活動団体懇談会

2003年

2月オーナーの経営する社会福祉法人による施設等の見学（名古屋市）

5月第20回会合 資金集めの具体的方法検討

6月 NPO の名称決定コスファ（COSFA=Co-OperativeSpaceForAll）とする

7月 NPO 設立総会 ロゴマーク決定

10月事業費決定

11月工事業者決定／解体工事前お祓い／既存建物解体工事／確認申請

12月地鎮祭／建築本体工事設計契約／懇談会／着工／NPO 法人認証取得

2004年

2月上棟

4月ホームページ立ち上げ

6月狭隘道路整備事業（世田谷区）

7月共用部分の自主施工・各団体の内装自主施工完了検査／竣工

8月 賃貸借契約締結／COS 下北沢オープニングウィーク

9月1日 COS 下北沢ランドオープン

9月毎日新聞に地域貢献型建物として取材記事掲載

11月都市と農村生産地と消費地交流 第1回

2005年

5月緑のカーテンづくり アスカマンによる土づくり講習会

6月公益信託世田谷まちづくりファンド活動部門へ申請助成金獲得

9月 1周年記念 こすきた祭り with しもきたキッズフェスタ 2005

10月島づくり人材養成大学研修受け入れ都市と農村生産地と消費地交流

秋田県立短期大学農村活性化PJ 現地訪問

東京青年会議所主催「JCNPO フェア 2005」公募

11月女性の働き方見本市わくわくワークフェスタ in 世田谷 2005 参加

都市と農村生産地と消費地交流 第2回

2006年

3月ベビーシート・車いす用トイレ設置

COS 下北沢春のフリマ開催

6月世田谷まちづくりファンド活動部門へ申請助成金獲得

8月 COS 下北沢フリーマーケット

10月都市と農村生産地と消費地交流 第3回

11月 NPO フェスタ参加都市と農村生産地と消費地交流 愛媛岩城島第1回

12月女性の働き方見本市わくわくワークフェスタ in 世田谷 2006 参加

2007年

2月世田谷区生涯現役フェア 2007 に参加

6月世田谷まちづくりファンドネット文庫部門へ応募助成金獲得

8月 COS 下北沢ぶろぐ開始 COS 下北沢 3周年記念イベント（クラヴィコート演奏会、苔玉講習会、バザー）

10月都市と農村生産地と消費地交流

11月都市と農村生産地と消費地交流 愛媛岩城島第2回

12月女性の働き方見本市わくわくワークフェスタ in 世田谷 2007 参加

2008年

2月 COS 下北沢 3周年記念シンポジウム開催

4月ファンド助成事業ネット文庫「COS 下北沢 5年間の記録」完成

9月バザー開催（近隣と協働）10月ホール利用規定改定

11月冊子「COS 下北沢 5年間の記録 2003～2007」発行

女性の働き方見本市わくわくワークフェスタ in 世田谷 2008 参加

2009年

3月東大原小学校 PTA と連携 安全マップ、子どもを守ろう 110番、プレート貼付 10月秋田産直会

12月わくわくワークフェスタ in 世田谷 2009 「起業ミニメッセ」にパネル展示

2010年

2月 ACT 助成金決定 35万円

3月財団法人世田谷トラストまちづくり「地域共生のいえ」登録記念イベント実施

9月 COSFACafe オープニングウィーク

11月女性の働き方見本市わくわくワークフェスタ in 世田谷 2010 参加

2011年

3月 ACT 助成金決定 30万円

8月ザワーズ主催で東日本大震災支援イベント

10月インターネット環境整備

11月床パネル貼り工事わくわくワークフェスタ in 世田谷 2011 パネル展示参加

2012年

2月東日本大震災支援イベント 短歌・写真展開催協力 5月講演会開催 COS 下北沢運営一
ふりかえりと今後に向けてー

9月ホール&カフェ利用規定・料金改定

11月わくわくワークフェスタ in 世田谷 2012 パネル展示参加

12月世田谷トラストまちづくり「3軒からはじまるガーデニング支援制度助成」決定

2013年

2月セブンイレブン記念財団の助成事業助成決定「3軒からはじまるガーデニング支援制
度助成」シンボルツリー・草花植栽 3月セブンイレブン記念財団の助成事業で「地域のベン
チ」設置

4月ホームページリニューアル <http://npocosfa.com/>

10月こすきた祭り 11月わくわくワークフェスタ in 世田谷 2013 パネル展示参加

2014年

1月セブンイレブン記念財団の助成によるシンボルツリー・草花植栽

2月利用団体の協力で COS 下北沢植栽の名札づくり

4月外装修理（ていんかあべる門扉他木部塗装）

7月 NPO 法人リンクがまちづくり広場ザワーズと事務所共有使用開始

10月開業 10周年記念こすきた祭り

2015年

4月 COS 下北沢ホール利用料金の改定 5月 NPO 法人リンクとの契約終了

6月掲示板に大型月刊スケジュールのお知らせ

9月こすきた祭り開催

10月 COS 下北沢での子ども食堂開催の可能性について意見交換地域共生のいえ瓦版 6号
に COS 下北沢が取り上げられる

2016年

1月地域デイサービス事業について実施検討開始

6月「世田谷自治対策 VOL. 8」にグループ菜および COS 下北沢が取り上げられる

9月こすきた祭り開催

このほか毎年、こすきた通信を発行。視察・見学は多数。

2017年

3月3月1日より 201号室にU設計事務所に代わって、一級建築士事務所 加賀谷建築設
計、タンタブルー級建築士事務所入居。2つの設計事務所が 201号室をシェアする形

3月せたがや自治政策研究所『都市社会研究 9』COS 下北沢活動報告掲載（発行 2017年 3
月）5月 COS 下北沢のトレードマーク変型木製ベンチ、修理。201号室両設計事務所の看
板設置 6月総会

7月こすきた通信 VOL. 14（ミニ版）発行

7月視察見学 国土交通政策研究所他 10名。空き家活用と地域交流について

7月視察見学「STAR JAPAN」韓国の江原道の首府都市・春川 支庁のみなさん（12名）（トラストまちづくり）

11月こすきた祭り開催 ”地域の防災、一緒に！” プログラム「地域の取り組みを知る ・ 訓練の実施（AED、消火用資機材消火器、スタンドパイプなど）・ 試食 ・ 準備と心構え」で構成

2018年

2月視察見学（社）韓国地域開発学会 各25名 2班（トラストまちづくり）

4月4月末～5月末ほぼ一か月をかけて COS 下北沢大規模外装塗装・配管高圧洗浄などメンテナンス実施

6月視察見学 韓国『中日』24名（世田谷トラストまちづくり）

6月総会 NPO法改正にともない公告について、定款変更

7月こすきた通信 VOL.15(ミニ版) 発行

9月事業報告・会計報告をホームページに公告

10月こすきた祭り開催 昨年に続き、防災”テーマ。COS下北沢を起点として「防災めがね」をかけて周辺のまち歩き実施

2019年

2月イベント COS 下北沢ホール漆喰プチ補修

6月総会

6月視察見学 「生涯現役ネットワーク」主催 40歳からの仲間づくり企画・見学会

7月 COS 下北沢 15周年 オーナー河津さんとの懇談会 社会福祉法人フラワー園での斬新な取り組みをうかがう 8月こすきた通信 VOL.16(ミニ版) 発行

10月こすきた祭り 防災をテーマに3年目を予定していたが、台風直撃により中止

10月視察見学社会福祉協議会・北沢安心すこやかセンターのみなさま) 認知症カフェの会場として COS 下北沢で可能かどうか見学

11月(一財) 世田谷トラストまちづくりの主催「地域共生のいえオーナーズプラス会議」 COS 下北沢で開催 12月視察見学法政大学大学院稲葉ゼミ見学会

2020年

4月組織運営 1月以来少しづつ広がりつつあった covid19 コロナ禍の対策として、4月7日改正新型インフルエンザ等対策特別措置法第32条第1項の規定に基づき、緊急事態宣言を東京はじめ7都道府県に発出。期間は5月6日まで。同16日4月7日に宣言した緊急事態措置を実施すべき区域を、7都府県から全都道府県に拡大。期間を5月31日まで延長。COS 下北沢では、一時預かり保育ていんかあべるは世田谷区の方針に沿って運営。その他独自判断で事業継続。ホールは利用者の判断で4月5月は一斉に中止された。解除後6月より自主判断により、定期量団体の多くが再開。COS 下北沢でも感染予防対策消毒剤など常備。

5月組織運営 理事会をズーム会議で開催

5月5月26日緊急事態宣言解除

6月総会

6月イベント COS 下北沢玄関上のサイン「ロゴマーク」を修復張替え

6月助成金 ボランティア・市民活動支援総合基金 夢応援ファンド2020年度特別助成金 10万円

8月助成金 さわやか福祉財団 つながろう、心で 広げよう、笑顔の助け合い! 『地域助け合い基金』で、コロナ禍を乗り越えて共生社会へ III 地域の助け合いを維持・発展する活動部門 15万円

8月広報 「COS 下北沢周辺防災マップ」完成「防災」をテーマに3年間こすきた祭りを開催してきた集大成 コロナ禍で完成が遅れる

8月広報 こすきた通信 VOL. 17(ミニ版) 発行

12月 広報 地域共生のいえかわら版15号、「COS 下北沢」のコロナ禍の中で活動事例を紹介・掲載

2021年

1月1月7日 cosvid19 第3波 首都圏の感染の拡大により2回目の緊急事態宣言発出(菅政権)

2月2月以降4月解除までホール利用も自粛が多くなった。

6月全体会・総会もズーム開催 感染者拡大にオリンピック開催について世論紛糾。ワクチン接種、高齢者より開始。

7月昨年に続きさわやか財団に助成応募、申請ならず。都議選、オリンピック開催

8月パラリンピック開催 こすきた通信 VOL. 18 発行

9月さわやか財団への助成申請内容をブラッシュアップし、大和証券福祉財団助成金応募。応募趣旨は、従来の自由度の高いホール活用に加え、オンライン環境の整ったスタジオを備えることで、居場所機能を高める。手始めに孤立感の解消や生活の質の向上に役立つデジタル端末の講習会を高齢者向けに実施する。

10月感染者数の減少に伴い、ホール利用もやや上昇傾向

11月コロナ禍後初めての見学訪問(①大学院生、②今までも何度かゼミとして取り上げていただいた法政大学稲葉ゼミ) 全体会を対面で行う。2020年総会以来となる。

12月大和証券福祉財団ボランティア活動助成採用。金額294,000円。

2022年

4月助成金により、オンライン用カメラ、マイク、プロジェクター完備

5月スマートフォン情報モラル講座開催

6月8・18日スマホ勉強会開催

9月2024年8月オーナーとの20年契約終了とその後に向けて検討開始

2023 年

- 4 月ケーブルテレビ J:COM チャンネル情報番組取材ジモト応援つながる News 動画放映
- 5 月第 4 回せたがや居場所サミットトークセッション参加
- 6 月～7 月 COS 下北沢管理団体ザワーズの後任呼びかけに応じて何団体か、見学面談
- 8 月夏休み企画としてユニークな活動団体によるホール利用があった。
ティーンズオフ会、映像ワークショップ
- 9 月以降契約更新に向けて具体的な議論を積み重ねた。
- 12 月長年の常連で会った健康麻雀雀のお宿が高齢化により、休止となった。
- 3 月地域共生のいえ活動支援助成金応募、採用。

2024 年

- 1 月まちづくり広場ザワーズの後任に合同会社橘 橘たかさんとして議論を進めることとした。
- 2 月オーナー河津さんにお越しいただき、契約更新に向けて各事業体の継続運営を確認し、契約主体と契約条件に絞った。
- 4 月新家賃他概ね契約事項が固まった。NPO 法人コスファの継続と河津さんとの契約主体とすることとした。急遽おでかけひろばぼっこの週 3 回ホール利用を了解した。
- 5 月理事会 おでかけひろばぼっこ 正式活動開始
- 6 月総会 合同会社橘 正会員となる。お出かけ広場ごっこ 覚書取り交わす。建設基金の編機に向けての活動を開始。
- 7 月新契約
- 8 月建設基金の返金を実施し、20 年間の COS 下北沢の運営から新たな運営となる。

※この他毎年、こすきた通信を発行。視察・見学は年度により数量は異なるが継続的に問い合わせあり。